

平成 28 年度 委託実験調査成果報告書

I. 基本情報

事業名： (日本語) 創薬支援推進事業・創薬総合支援事業  
(英語) Project Promoting Support for Drug Discovery “The iD3 Booster”

実験調査課題名： (日本語) 環状ホスファチジン酸類縁化合物による多発性硬化症治療薬の開発  
(英語) Development of cyclic phosphatidic acid derivative as a therapeutic agent for multiple sclerosis

実験調査担当者 (日本語) 埼玉医科大学医学部薬理学 講師 吉川圭介  
所属 役職 氏名： (英語) Department of Pharmacology, Faculty of Medicine,  
Saitama Medical University,  
Assistant Professor, Keisuke Yoshikawa

実施期間： 平成 28 年 11 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

## II. 成果の概要

・ 2ccPA の脱髄抑制作用メカニズムの解明の一環として、cuprizone (CPZ) 誘発脱髄モデルを用いて脳梁サンプルの遺伝子発現網羅解析及び脂質網羅解析を行った結果、脱髄抑制メカニズム解明のキーとなる経路がいくつか示唆された。

・ To elucidate the mechanism of suppression of the cuprizone (CPZ) induced demyelination by 2ccPA, we performed genechip and lipidomics comprehensive analysis of the corpus callosum of CPZ exposed mice. We found several key pathways in the mechanism of suppression of the demyelination by 2ccPA.

## III. 成果の外部への発表

(1) 学会誌・雑誌等における論文一覧 (国内誌 0 件、国際誌 0 件)

該当なし

(2) 学会・シンポジウム等における口頭・ポスター発表

該当なし

(3) 「国民との科学・技術対話社会」に対する取り組み

該当なし

(4) 特許出願

該当なし